

「賀川豊彦のお宝発見」 その3

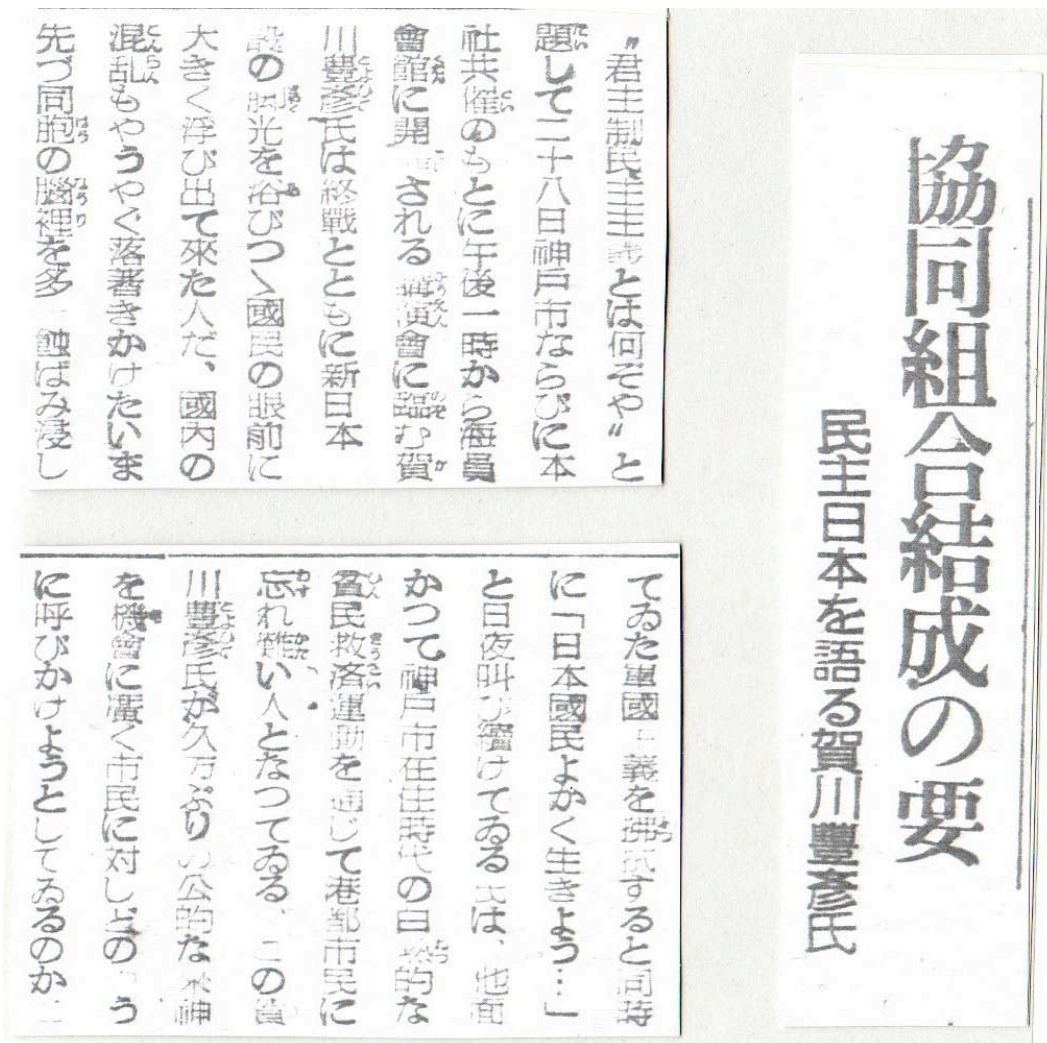
新聞記事にみる賀川豊彦 (31)

1910 (明治43) 年~1963 (昭和38) 年 (神戸版)

第31回 「神戸を協同組合都市に」

「協同組合結成の要」

1945 (昭和20) 年10月28日「神戸新聞」



十七日大阪に來著中の氏を訪ねた記者を通じ次の言葉を市民に贈つたのであつた

◇……われわれの前途には幾多の苦難が横はつてゐる、この苦しみに乗じてあらゆる思想が國を昏迷させるであらう、だがわれわれはあくまでも日本國民としての民主主義を打ち樹て日本建設の基盤を鞏固ならしめねばならないのだ、そこでわれわれが持たうとしてゐる民主主義とは滿洲事変以前の日本に還らばよい、君主た 天皇陛下を戴いた民主主義を絶対に樹立することこそ、今後全國民の務め

……これと同時に民生の安定を促すためには生活の協同体が必要である、そのためには從來の産業組合法による組合を無くし、よう新たに協同組合法を制定した上に生産―配給―消費を一本とする協同組合を全国的に結成しなければならぬ、この案についてはすでに内務、大藏、農外、厚生の各省から絶大な賛成を受けてゐるので、近く具體を見ることとならう

協同組合結成の要

民主日本を語る賀川豊彦氏

“君主制民主主義とはなんぞや”と題して二十八日神戸市ならびに本社共催のもとに午後一時から海員会館に開催される講演会に臨む賀川豊彦氏は終戦とともに新日本建設の脚光を浴びつゝ國民の眼前に大きく浮び出て來た人だ、国内の混乱もやうやく落ち着きかけたいま先づ同胞の腦裡を多く蝕ばみ浸していた軍国主義を払拭すると同時に「日本國民よかく生きよう・・・」と日夜叫び続けている氏は、他面かって神戸市在住時代の白熱的な貧

民救済運動を通じて港都市民に忘れ難い人となっている、この賀川豊彦氏が久方ぶりの公的な来神を機会に広く市民に対しどのやうに呼びかけようとしているのかと十七日大阪に来賓中の氏を訪ねた記者を通じ次の言葉を市民に贈ったのであった

☆ ……われわれの前途には幾多の苦難が横はっている、この苦しみに乗じてあらゆる思想が国民を昏迷こんめいさせるであらう、だがわれわれはあくまでも日本国民としての民主主義を打ち樹てて日本建設の基盤を鞏固きょうこならしめねばならないのだ、そこでわれわれが持たうとしている民主主義とは満州事変以前の日本に還ればよい、君主たる天皇陛下を戴いた民主主義を絶対に樹立することこそ、今後全国民の務めで・・・これと同時に民生の安定を構築するためには生活の協同体が必要である、そのためには従来の産業組合法による組合を無くすよう新たに協同組合法を制定した上に生産―配給―消費を一本とする協同組合を全国的に結成しなければならぬ、この案についてはすでに内務、大蔵、農林、厚生 of 各省から絶大な賛成を受けているので、近く具体化を見ることとならう。

「神戸を組合都市に」

1945 (昭和20) 年10月29日「神戸新聞」

神戸を組合都市に

市政も生産的に活動

賀川氏の抱負

神戸市顧問賀川豊彦氏の來神を機に、二十九日中井市長以下市、區幹部ならびに市會議員

出席のもとに午前十時から市會談室に「賀川氏を主とする座談會」を開催、民主安定のための今後における市政の在り方について熱意な

い懇談をとげたが、席上賀川氏は、大東つぎの如き意見を披瀝した。◇……これからの都市行政はどうかしても協同体でなければならぬ、前大戦によつてオーストリ

十の國十が七分の一に縮少され當然首都ウィーンは失業と饑饉に混乱しなければならなかつたのだが、不思議にも一人の失業者も出さずに済んだのであつた

これは、実に國民の團結的協同精神が、歐洲中に最も優れてゐたからで、終戦後直ちに組合都市をつくつて民生の安定に備へたからであつた。今後日本の都市行政は是非とも協同体でなければならず、わけて神戸市は他の都市に先んじて組合都市を形成すべきだ、たゞウィーン市民の協同精神の旺盛なのに較べてわが神戸市民はかうした協同体に対する自覺が不たない、これ

は一に政治意識が低調なからであ
り速やかにこの方面の指導も
併せて行ふ必要がある。

◇……米國には全配で五百ぐりの
の都市があるが、その半数の都
市は請負制の市政を採用してゐる
たとへば市會で何時も日までに
これこれの水道を施設あるひは
修理すべしと議決した場合は、
市政の実行体である市役所が必
ず議決通りに実施するといふ具
合だが、それにして現在の官公
衙の能率はあまりにも低い。マ
ツカーサー司令部ほどのやうな
犠牲を拂つても日本國民の衣食
住は保障するといつてゐるに拘
らず、悲しいかな、わが政府側

の態がこれに適應してゐない
現状である。マ司令部が配し
てゐることを到底に実行するぞ
けの能率がないのだ。都市行
政にしても大いに競争といふ面
に対し改革する必要がある。

◇……またこれからの都市行政は
税金にだけたよつてゐたのでは
大きな財政を賄ふことはできな
い、市役所も生産的に活動する
ことが必要だ、すなはち、市直
營の信用組合を設けて質屋など
を大々的に營業し、その純益
を市民の工業資金貸付けるた
め市内二、三個所の市の庶民金
庫を設置する、また牛乳なども
現在は皆無に等しいが、これを

牛の市の出費のほかに一世帯の
持株を十円なり十円と決めて出
費させ、これをよびつて縣下の「

足の踏込」における縣家にと無道
あたりから乳牛を輸入させるこ
とによつて市のミルクプラント
を經營すれば、牛乳は確實に家
庭の手に入り、庶民乳牛の命を助
かるといふものを、以上のやう
に生産的專業經營を都市が取り
出せば必然財政も漸次豊かにな
つてゐる。

◇……なほついでに先般日本に來
た私の知人である米國キリスト
聯盟の理事長ベツカーズ氏にお
會ひした際、現下の日本の食糧
事情を詳しく説明したといふ。

氏は十一月中旬に帰国するが、
 つたなら直ちに日本の食糧事情
 を米國國民に懇へて、全米に救
 済運動を起し出さねばならぬの
 メリケン論を述べておられる事
 くれたことをこの新聞が専らする

「傷痍軍人の就職：各県に〈時計学校〉」
 1945（昭和20）年10月30日
 「神戸新聞」

（2011年4月9日記す。鳥飼慶陽）

傷痍軍人の就職へ 各縣に「時計学校」

來神の賀川豊彦氏 具體化表明

來神中の賀川豊彦氏、傷痍軍人の
 就職と將來我が國産業の進む
 べき道を一石二鳥に解決するため
 に各縣の農村に時計學校を設立す
 る意圖を具體化しつゝある旨表明
 した、現三縣なき傷痍軍人は全國
 に一万余の多人数に上り、その就
 業は、難視とされているが、時計學

東京都中野區黨宮、長野縣小縣
 郡塩川村および青森縣南、輕井
 大崎町の三ヶ修版工場が候補に
 上り、會長として石黒元龜神大
 臣、理事等として賀川豊彦氏の
 名をこつて目下設立許可申請中
 で、將來、一縣一學校に擴大す
 る豫定である、資金は中央金庫
 より出資され、英工舎が技術面
 の指導に當る

神戸を組合都市に

市政も生産的に活動

賀川氏の抱負

神戸市顧問賀川豊彦氏の来神を機に、二十九日中井市長以下市、区幹部ならびに市会議員出席のもとに午前十時から市会談話室に「賀川氏を囲む座談会」を開催、民主安定のための今後における市政の在り方について隔意ない懇談をとげたが、席上賀川氏は大要つぎの如き意見を披瀝した、

- ◇ ……これからの都市行政はどうしても協同体でなければならない、前大戦によってオーストリーの国土が七分の一に縮小され当然首都ウィーンは失業と饑餓に混乱しなければならなかったのだが、不思議にも一人の失業者も出さずに済んだのであったこれは、実に国民の団結的協同精神が、欧州中に最も優れていたからで、終戦後直ちに組合都市をつくって民生の安定に備へたからであった、今後日本の都市行政は是非とも協同体でなければならず、わけて神戸市は他の都市に先んじて組合都市を形成すべきだ、たゞウィーン市民の協同精神の旺盛なのに較べてわが神戸市民はかうした協同体に対する自覚が未だない、これは一に政治意識が低調だからであり速やかにこの方面の指導も併せて行ふ必要があらう、
- ◇ ……米国には全部で五百ぐらいの都市があるが、その半数の都市は請負制の市政を採っているたとへば市会で何時何日までにこれこれの水道を施設あるひは修理すべしと議決した場合は、市政の実行体である市役所が必ず議決通りに実施するといふ具合だが、それにして現在の官公衛の能率はあまりにも低い、マッカーサー司令部はどのやうな犠牲を払っても日本国民の衣食住は保障するといっているに拘わらず、悲しいかな、わが政府側の能率がこれに顧慮していない現状である、マ司令部が心配していることを即座に実行するだけの能率性がないのだ、都市行政にしても大いに能率といふ面に対し改革する必要がある、
- ◇ ……またこれからの都市行政は税金だけにたよっていたのでは大きな財政を賄ふことはできない、市役所も生産的に活動することが肝要だ、すなはち、市直営の信用組合を設けて質屋などを大々的に営業し、その純益を市民の生業資金に貸付けるため市内二、三個所に市の庶民金庫を設置する、また牛乳なども現在は皆無に等しいが、これなども市の出費のほかに一世帯の持株を十円なら十円と決めて出費させ、これによって県下の一定の郡内における農家に北海道あたりから乳牛を購入させる

ことよって市のミルクプラントを経営すれば、牛乳は確実に家庭の手に入り虚弱乳児の命も助かるといふものだ、以上のやうに生産的事業経営に都市が乗り出せば必然財政も漸次豊かになってくる

- ☆ ……なほついでに先般日本に來た私の知人である米国キリスト連盟の理事長バッカーズ氏にお会ひした際、現下の日本の食糧事情を詳しく説明したところ、氏は十一月中旬に帰国するが帰ったなら直ちに日本の食糧事情を米国国民に懇^{うった}へて、全米に救済運動を起し出来得るかぎりのメリケン粉を送らうと確約してくれたことをここにお伝へする。

傷痍軍人の就職へ

各県に「時計学校」

来神の賀川豊彦氏具体化表明

来神中の賀川豊彦氏が傷痍^{しょうい}軍人の就職と将来我が国精密工業の進むべき道を一石二鳥に解決するために各県の農村に時計学校を設立する意図を具体化しつつある旨表明した、現在脚なき傷痍軍人は全国に？万名の多人数に上り、その就職は困難視されているが、時計学?????と。

東京都中野区鷺宮、長野県小県郡塩川村および青森県南津軽郡大鰐町の三ヶ所修破工場が候補に上り、会長として石黒元農商大臣、理事長として賀川豊彦氏の名をもって目下設立許可申請中で、将来は一県一学校に拡大する予定である、資金は中央金庫より出資され、英工舎が技術面の指導に当る。